

光害は、解決可能です！

環境から取り除くのが難しい他の公害と違い、光害は「光の速さ」で解決することができます。対策をすれば、その効果はすぐに表れ、しかも長続きます。



サクセス・ストーリー

2018年、米国アリゾナ州ツーソン市（人口50万人）は街路灯を改修しました。その結果、年間220万ドルのエネルギーコストを節約し、夜空の明るさも7%削減されました。

私たちは大きな成果を挙げています

1,000+

1,000種類を超える「ダークスカイ認証」照明器具が市場で利用可能になっています。

200+

世界で200か所を超える「星空保護区」が認定され、16万平方キロメートル以上の暗いエリアが保護されています。



2,000+

49カ国で2,000人を超えるダークスカイ・ボランティア（アドボケイト）を支援しています。

70+

24カ国で70以上の支部を支援しています。

失われゆく星空

光害は危機的な速さで拡大を続けており、私たちの健康や自然環境を害し、美しい星空を奪いつつあります。ダークスカイ・インターナショナルは夜を守るための取り組みを進めていますが、それを成し遂げるためには皆さんの力が必要です。

この活動に参加して、夜を守る力になってください



ダークスカイは、夜を守るために世界中の人々が協力し合うコミュニティです。今すぐニュースレターに登録して、詳しい情報をご覧ください。



Photo credit: Bin Chen



DarkSky
INTERNATIONAL

ダークスカイ・インターナショナルは、米国に拠点を置く501(c)(3)非営利団体で、自然の夜の環境の保全と保護に取り組む世界的なコミュニティと運動を支えています。

DarkSky International
5049 East Broadway Blvd #105
Tucson AZ 85711
USA

www.DarkSky.org
+1-520-293-3198



Protect the night

～夜を守るために～

夜の環境を守り、回復させるために、迅速な対応が求められています

光害とは？

光害とは、屋外の光環境を人間が自然の状態から変化させてしまうことによって生じる、さまざまな悪影響のことです。照明を必要以上に使ったり、タイマーやセンサーを利用しなかったり、不適切な色の光を使ったりすることで、多方面に影響が生じます。



光害についてさらに詳しく →

光害の具体例

野生生物への悪影響



植物や動物は、地球の昼と夜のサイクルに依存して、生きていくための活動を営んでいます。研究によれば、夜間の人工光は多くの生物に悪影響、ときには致命的な影響を及ぼします。

エネルギーとお金の浪費



多くの屋外照明は無駄な光を出しています。このエネルギーの浪費は温室効果ガスの排出を増加させ、気候変動を助長するとともに、毎年数十億ドルもの損失を生んでいます。

人の健康への悪影響



研究によれば、夜間の人工光は人の健康に悪影響を及ぼし、肥満、睡眠障害、うつ病、糖尿病、乳がんなど、さまざまな病気のリスクを高めることが示されています。

安全と防犯の低下



屋外照明を増やすと犯罪を抑止できるという明確な科学的証拠はありません。実際、適切に遮光されていない街路灯のグレア（まぶしさ）は安全性を低下させ、犯罪や事故の一因となることがあります。

美しい星空の喪失



私たちの祖先は、美しい星空を眺めることで、科学や宗教、哲学、芸術や文学などにおいて大きな影響を受けてきました。ところが今では、世界中の多くの子どもたちが、天の川を見上げる感動を知ることなく育っていきます。

科学研究の妨げ



低軌道を周回する人工衛星群は夜空に光の筋を生じさせ、天文学の研究を妨げるとともに、NASAの小惑星衝突に対する早期警戒システムを脅かしています。

私たちにできることは？

光害を減らすためには、「責任ある屋外照明の5原則」を参考に、賢い選択をすることが大切です。夜にやさしい照明を使っていますか？



本当に必要な照明だけを使う

すべての照明は明確な目的を持つべきです。照明は必要なとき、必要な場所だけで使いましょう。



必要な場所だけを照らす

覆いや遮光板を付け、光の向きを調整して、本当に必要な場所だけを照らすようにしましょう。



必要以上に明るくしない

必要最小限の明るさとし、経済的な節約とグレア（まぶしさ）の軽減につなげましょう。



必要な時間だけ点灯する

必要なときだけ点灯しましょう。タイマーや人感センサーも活用しましょう。



暖色系（電球色）の光を使う

暖色系の光は白色よりも夜空の明るさへの影響が抑えられます。できるだけ電球色を使いましょう。

さらに詳しく



夜の大切さや、自宅や地域で光害を減らすためにできることについて詳しく知るには、darksky.orgをご覧ください。